

第3回

河原の生きものさがし！

日時：10月8日（月・祝）10時～13時

場所：永田橋周辺

すぎむら けんいち

ひしやま えいざぶろう

講師：杉村健一さん、菱山栄三郎さん



出発前ほとんどの子どもが「河原に行ったことがある」と答えるほど、身近な河原。「河原」と一言にいても今回探検した河原には、草に覆われた部分、林となった部分、石だらけの部分など、多様な環境がありました。よく知っているバツタも、草地の種類と石河原の種類は違います。環境が多様だから、生きものも多様！生きもの探しは、身近な自然がいかに豊かなのかを発見する「宝探し」でした。

30にんの
しょうがくせい
があつまりました。
はっけんが
いっぱい！

みんな
ありがとう

主催：NPO法人 自然環境アカデミー



〒197-0003 東京都福生市熊川243

TEL 042-551-0306 FAX 042-513-3964

E-mail : academy@m3.dion.ne.jp

http://www.h7.dion.ne.jp/~academy/

後援：福生市、福生市教育委員会

この事業は競輪の支援を受けて実施しました。

日本が生んだ世界のスポーツ

KEIRIN





▼ショウリョウ
バッタモドキ

▲ニホン
アカガエル



【河原の林】
河原なのに、山や林の
日陰を好む昆虫が見つ
かりました。
オオイトトンボ
コカマキリ
ハラビロカマキリ
マユタテアカネ

【堤防の草地】

草刈りの仕方によってバッタの種類が違いました。
草丈高い場所：ショウリョウバッタモドキ など
草丈短い場所：ヒナバッタ など

治水・利水によって、水や土砂の動
きが昔と変わったため、河原の中
で木が育ち林ができています。



▲クルマバッタ

郷土史家 菱山栄三郎さん



昔は多摩川流域
で、川の砂鉄を
集めて製鉄し、
刀などを作って
いました。磁石
を使って砂鉄を
集めてみよう。



【石河原の草地】

石河原の中で草が茂っている部分
には、草地でおなじみの種類もい
ました。

トノサマバッタ、クルマバッタ など

クルマバッタは
多摩川では珍し
いそうです。

【石河原】

植物が少なく、石がごろごろした河
原でしか生きられないカワラバッタ、
カワラノギクを確認。どちらも希少
種です。

「河原」は堤防から反対
の堤防までの広い範囲で
す。草地、林、石河原など、
いろんな環境があって、
それぞれ違う生きものが
見つかったね。



砂鉄集めを体験

▼カワラバッタ



▲カワラノギク

西多摩昆虫同好会
杉村健一さん

